

スーパーマーケット景気動向調査

5月調査結果(4月実績)

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因について補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

調査項目①

スーパーマーケット中核店舗における「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」について、前年同月及び前月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で調査

経営動向調査 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

調査項目②

「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」の各カテゴリーについて、当月における好調カテゴリーと不調カテゴリーとその要因を調査

【景況感調査】

調査項目

「景気状況」、「消費者購買意欲」、「周辺の競合状況」、「周辺地域の景気」について、2~3か月前と比較した現状及び今後2~3か月の見通しを「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査

景況感 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0.0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

2013年5月21日

日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

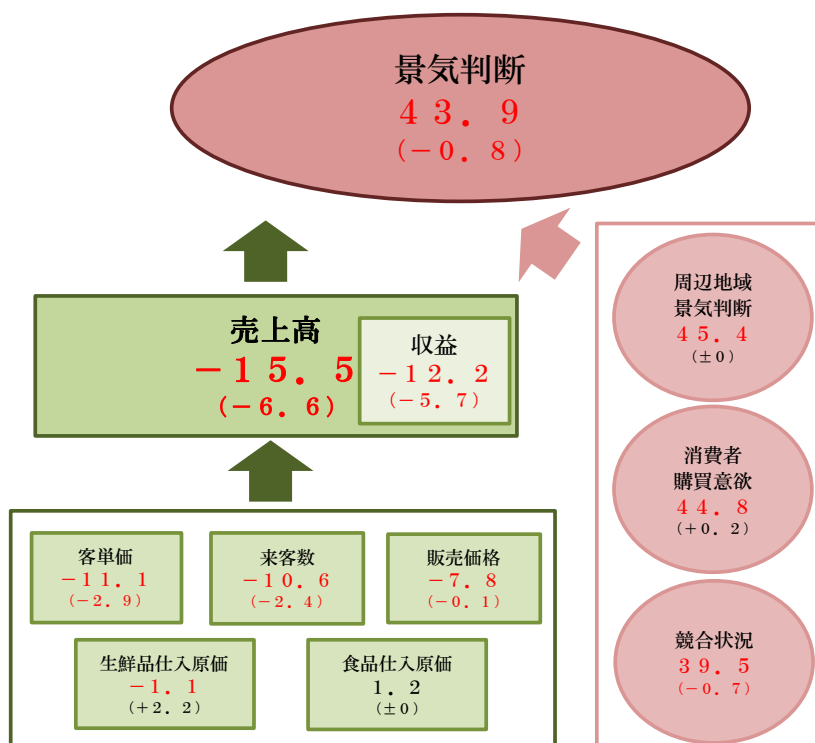
スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ
tokei@super.or.jp

I. 調査結果概況

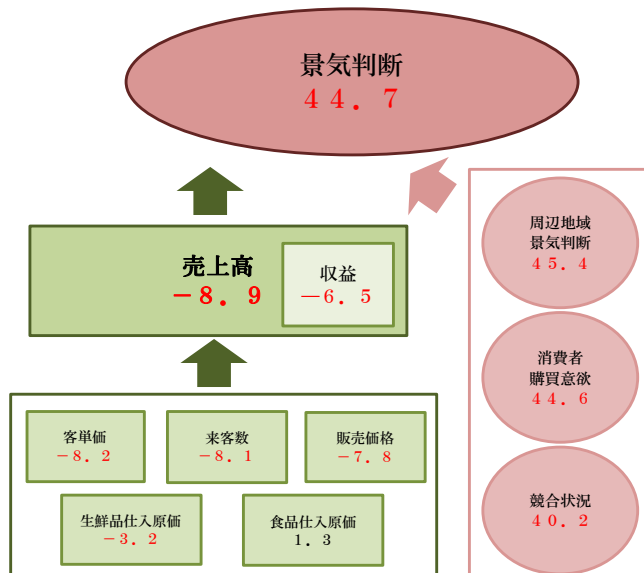
景況感 DI は改善傾向続き、周辺地域景気 DI は4 ヶ月連続の改善

4月スーパーマーケット中核店舗における景気判断は43.9と前月に比べ0.8悪化した。
 経営動向調査では、売上高 DI、収益 DI ともに下降し、客単価 DI、来客数 DI ともに小幅な減少となった。日曜日が一日少ないことや気温の変動が大きかったことが影響したと思われる。
 景況感調査では、現状判断については、景気判断 DI は下降したものの、小幅にとどまっており、他の DI もほぼ横ばいの動きとなっている。一方で、見通し DI は引き続き改善傾向を続けており、先行きには明るさが持続している。
 とはいえ、株高などで急ピッチの景気回復への期待は高まりをみせているものの、消費財を主に扱うスーパーマーケットにおいては、その回復ペースはゆるやかなものとなっている。

2013年4月 中核店舗における景況感・経営動向（速報版）



2013年3月 中核店舗における景況感・経営動向（確報版）



() 内は、前月 DI との増減 (赤字は DI 減少)

景気動向調査コメント キーワード TOP 3

1. 前年に比べ、日曜日が一回少ない
2. 気温の変動(天候不順)
3. 青果の相場安

() 内は、前月 DI との増減 (赤字は DI 減少)

3月調査確報版 集計企業数：265社
 4月調査速報版 集計企業数：247社

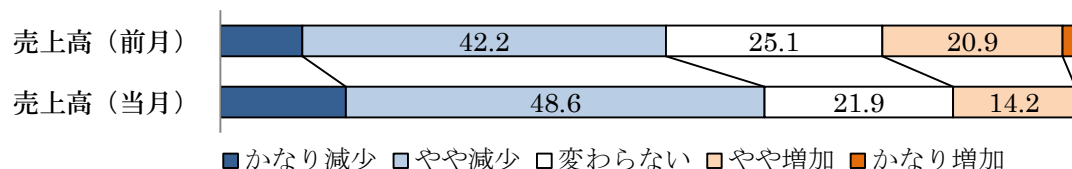
II. 調査結果詳細

1. 経営動向調査（前年同月との比較）

①売上高 DI

「やや増加」が減少し、「かなり減少」「やや減少」が増加したため、DIは下降

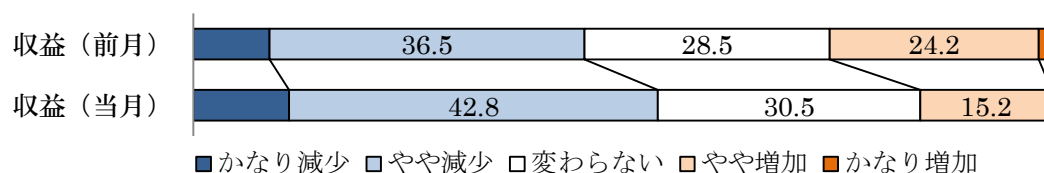
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	9.5	42.2	25.1	20.9	2.3	-8.9
売上高 (当月)	14.6	48.6	21.9	14.2	0.8	-15.5



②収益 DI

「やや増加」の割合が減少し、「やや減少」が増加したため、DIは下降

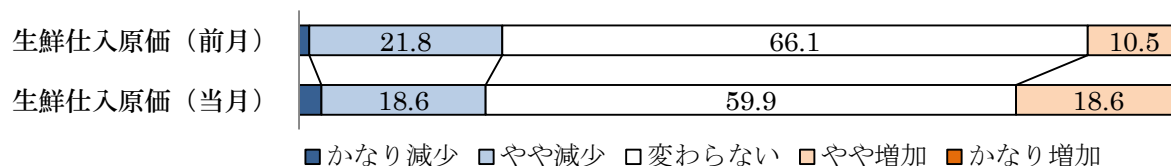
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	8.8	36.5	28.5	24.2	1.9	-6.5
収益 (当月)	11.1	42.8	30.5	15.2	0.4	-12.2



③生鮮仕入原価 DI

「やや増加」の割合が増加し、DIは小幅に上昇

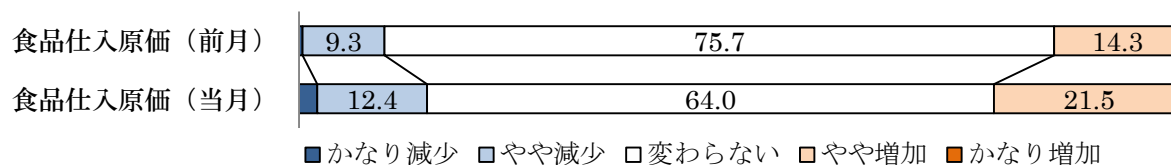
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	1.2	21.8	66.1	10.5	0.4	-3.2
生鮮仕入原価 (当月)	2.5	18.6	59.9	18.6	0.4	-1.1



④食品仕入原価 DI

「変わらない」の割合が減少し、「やや増加」が増加したものの、DIに大きな変化なし

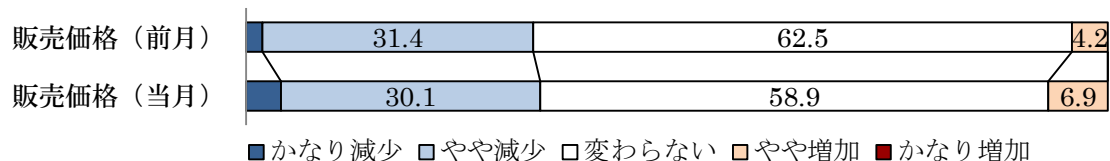
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	0.4	9.3	75.7	14.3	0.4	1.3
食品仕入原価 (当月)	2.1	12.4	64.0	21.5	0.0	1.2



⑤販売価格 DI

回答構成比に大きな変化なし

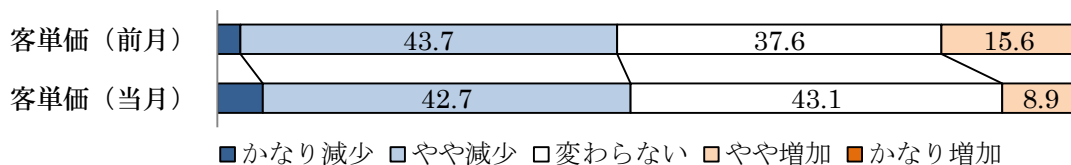
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	1.9	31.4	62.5	4.2	0.0	-7.8
販売価格 (当月)	4.1	30.1	58.9	6.9	0.0	-7.8



⑥客単価 DI

「やや増加」の割合が減少し、「変わらない」が増加したためDIは小幅に下降

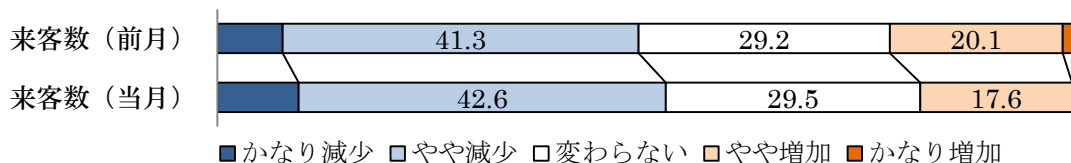
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	2.7	43.7	37.6	15.6	0.4	-8.2
客単価 (当月)	5.3	42.7	43.1	8.9	0.0	-11.1



⑦来客数 DI

回答構成比に大きな変化なし

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	7.6	41.3	29.2	20.1	1.9	-8.1
来客数 (当月)	9.4	42.6	29.5	17.6	0.8	-10.6

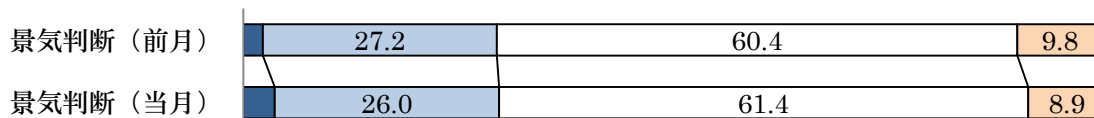


2. 景況感調査（現状判断：2～3カ月前との比較）

①景気判断 DI

回答構成比に大きな変化なし

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
景気判断（前月）	2.3	27.2	60.4	9.8	0.4	44.7
景気判断（当月）	3.7	26.0	61.4	8.9	0.0	43.9

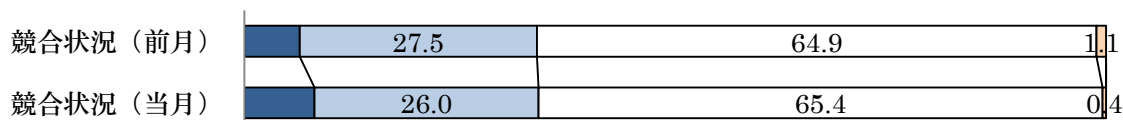


■かなり悪化 □やや悪化 □変わらない □やや改善 ■かなり改善

②周辺競合状況 DI

回答構成比に大きな変化なし

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
競合状況（前月）	6.4	27.5	64.9	1.1	0.0	40.2
競合状況（当月）	8.1	26.0	65.4	0.4	0.0	39.5

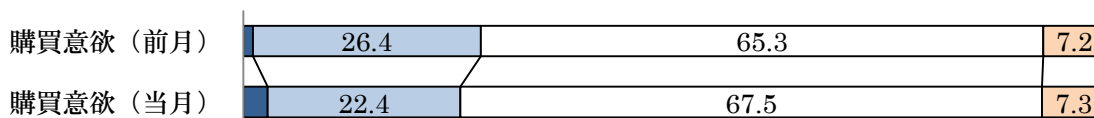


■かなり悪化 □やや悪化 □変わらない □やや改善 ■かなり改善

③消費者購買意欲 DI

回答構成比に大きな変化なし

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
購買意欲（前月）	1.1	26.4	65.3	7.2	0.0	44.6
購買意欲（当月）	2.8	22.4	67.5	7.3	0.0	44.8

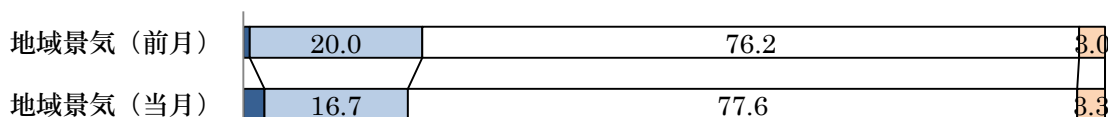


■かなり悪化 □やや悪化 □変わらない □やや改善 ■かなり改善

④周辺地域景気状況 DI

回答構成比に大きな変化なし

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
地域景気（前月）	0.8	20.0	76.2	3.0	0.0	45.4
地域景気（当月）	2.4	16.7	77.6	3.3	0.0	45.4



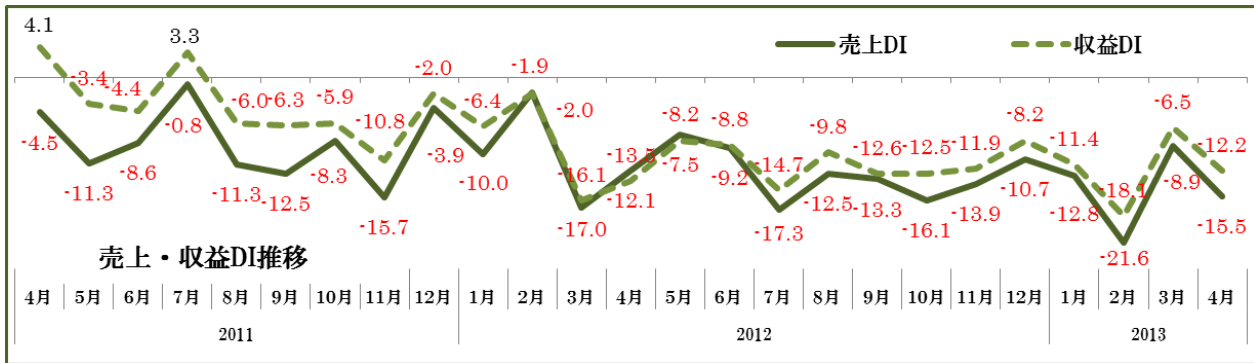
■かなり悪化 □やや悪化 □変わらない □やや改善 ■かなり改善

II. 調査結果推移 (2011年4月～)

1. スーパーマーケット経営動向調査

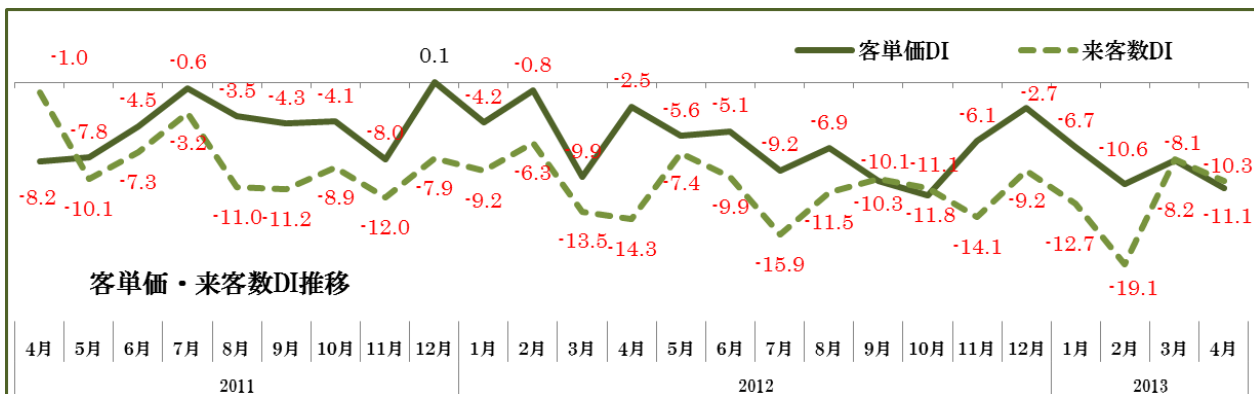
①売上高DI・収益DI

「売上高DI」「収益DI」共に下降



②客単価DI・来客数DI

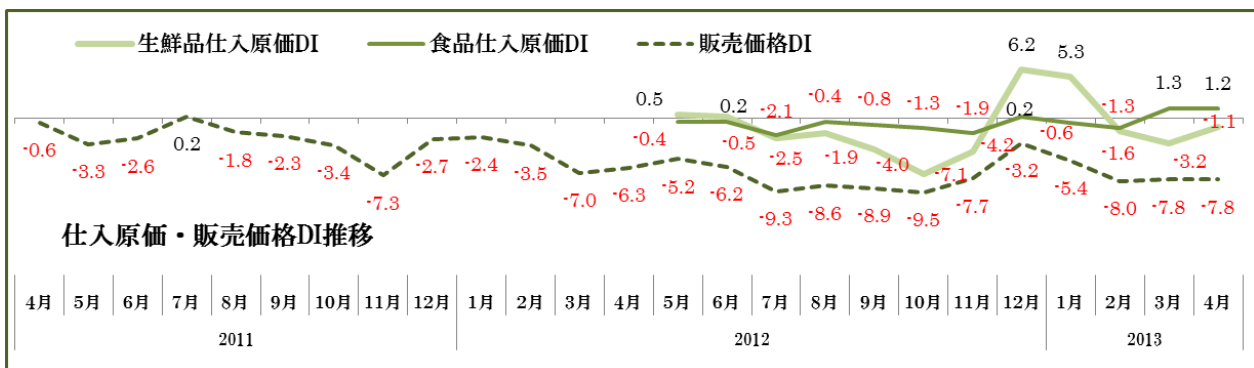
「客単価DI」「来客数DI」共に小幅に下降



③生鮮品仕入原価DI・食品仕入原価DI・販売価格DI

「生鮮品仕入原価DI」はやや上昇、「食品仕入原価DI」横ばい

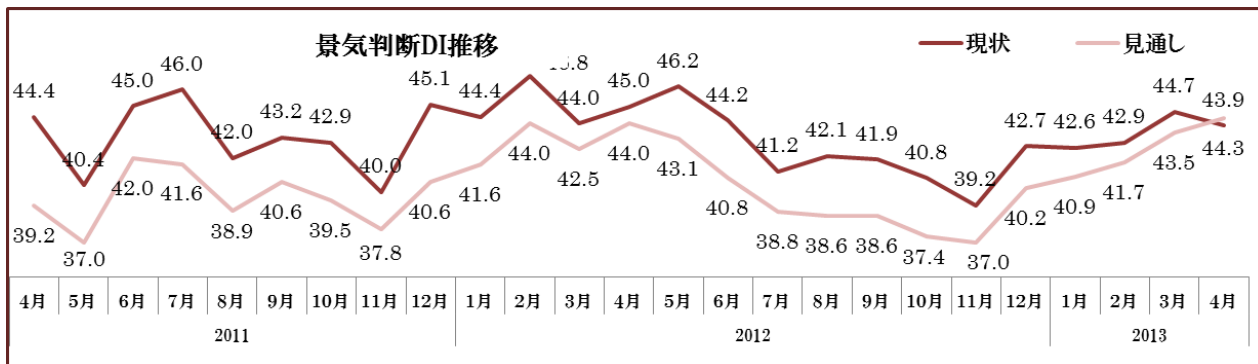
「販売価格DI」は横ばい



2. スーパーマーケット景況感調査

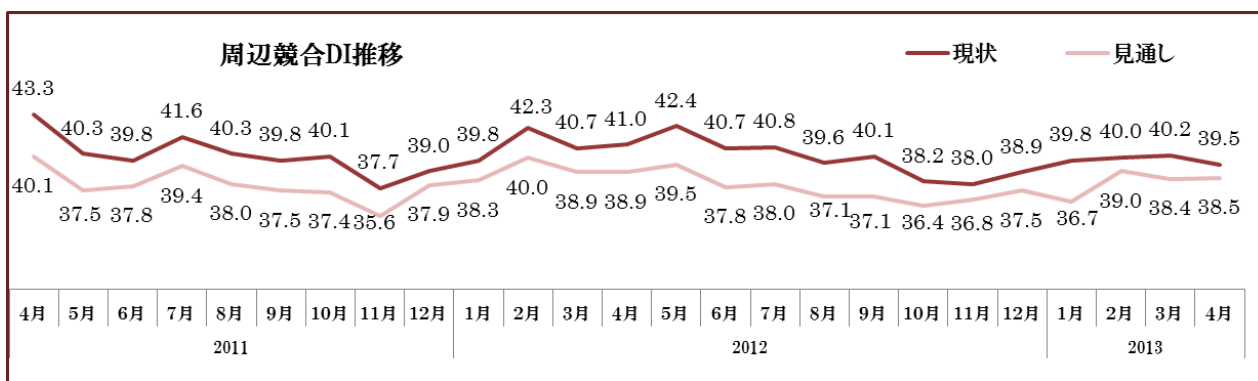
①景気状況 DI (現状判断・見通し)

現状判断は小幅に下降、見通し判断は引き続き改善傾向を継続



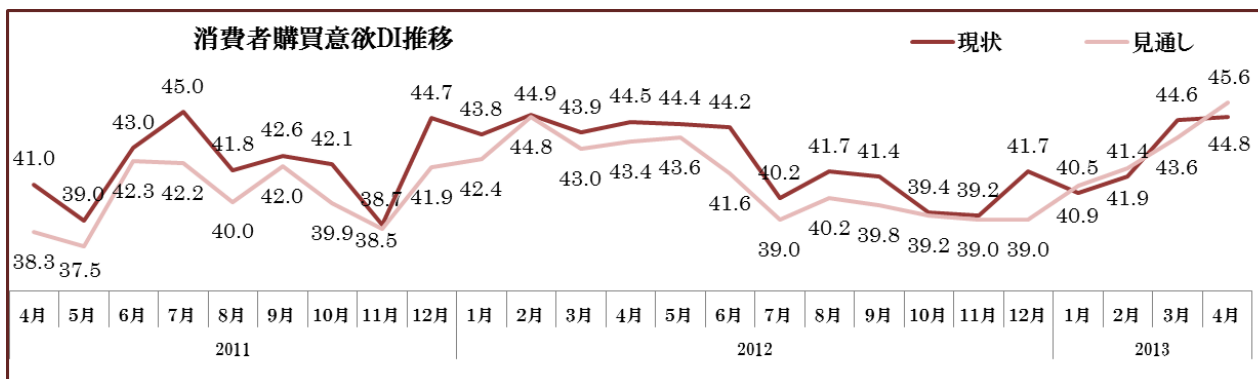
②周辺競合状況 DI (現状判断・見通し)

現状、見通し判断共に低水準での横ばい傾向が続く



③消費者購買意欲 DI (現状判断・見通し)

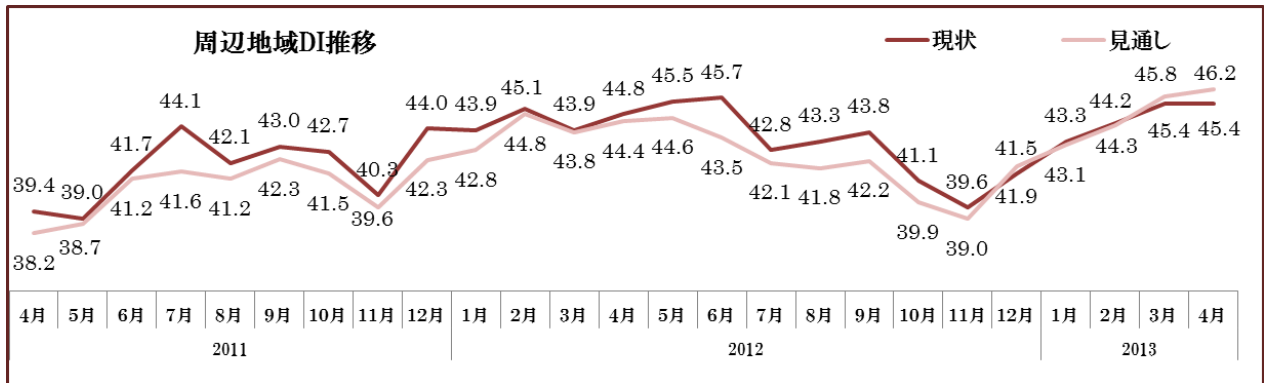
現状判断はほぼ横ばいも、見通し判断は上昇傾向が続く



III. 調査関連資料

④ 周辺地域 DI（現状判断・見通し）

現状判断は横ばい、見通し判断は5ヵ月連続の改善が続く

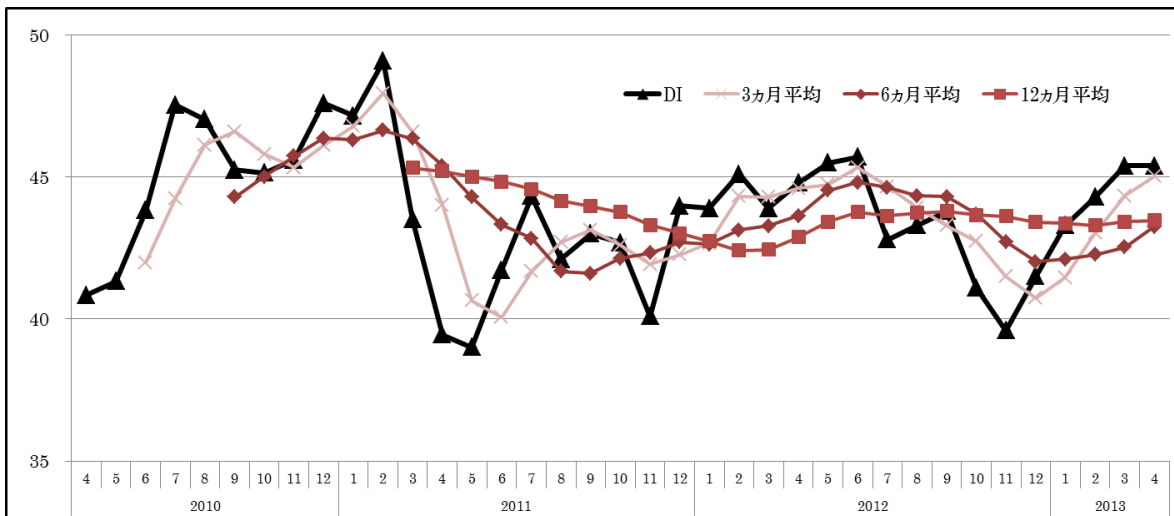


1. 移動平均（周辺地域景気 DI 現状・見通し判断）

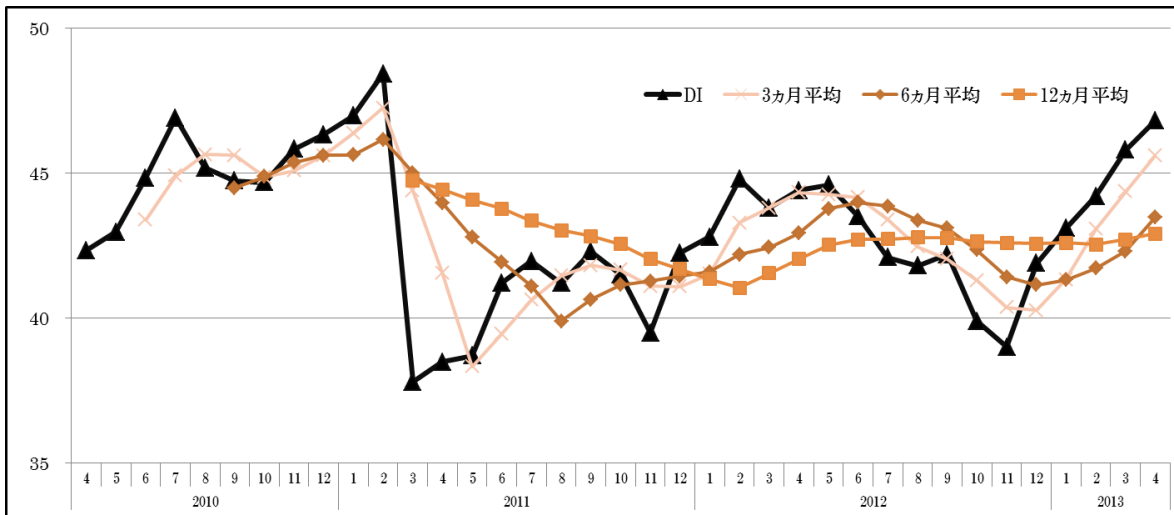
周辺地域の景気判断は現状判断こそ横ばいの推移となったが、見通し判断は、5ヵ月連続で改善となった。現状判断を見通し判断が2ヵ月連続で上回っており、引き続き先行きに明かりさが見える。

引き続き、全ての移動平均が上向きで推移しており、上昇トレンドが継続しているといえる。見通し判断が現状判断を上回っていることから、周辺地域の景気判断については、強気の傾向が続くと考えられる。

① 現状判断（中長期傾向）



② 見通し判断（中長期傾向）



2. カテゴリー別動向

①好調カテゴリー・不調カテゴリー

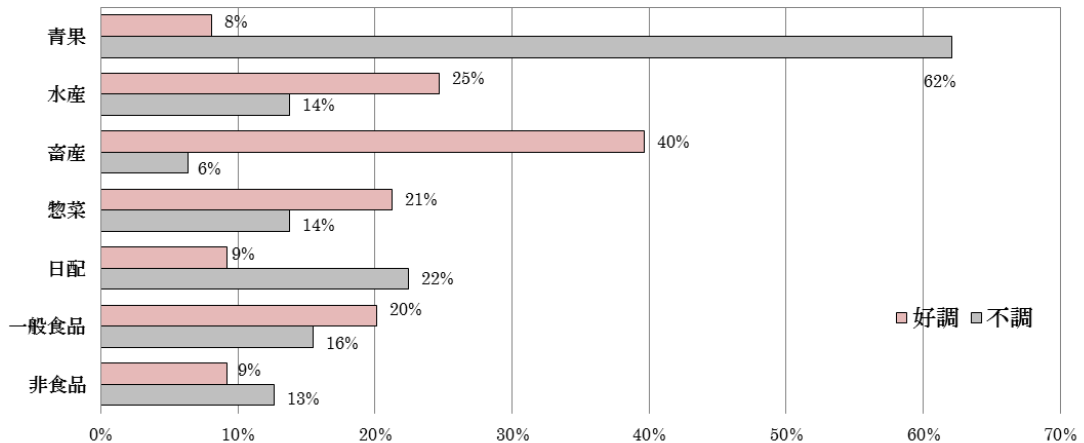
好調割合上位カテゴリー：①「畜産」②「水産」③「惣菜」

(好調%>不調%)：①「畜産」②「惣菜」

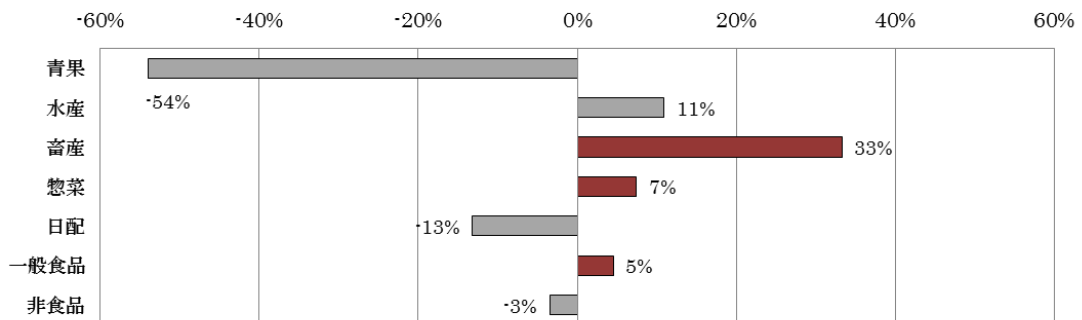
不調割合上位カテゴリー：①「青果」②「日配」③「一般食品」

(好調%<不調%)：①「青果」②「日配」

2013年4月 カテゴリー別 好不調回答



2013年4月 カテゴリー別動向 (好調%－不調%)



※N=177

②カテゴリー別主なコメント

	好調コメント	不調コメント
青果	(果物類)	相場安 (前年からの反動)
水産	刺身、(前年同月不調の反動)	(あさり、貝類の不漁)
畜産	牛肉、豚肉	
惣菜	花見・行楽需要の取り込み	花見のずれ
日配	洋日配 (デザート・飲料)	気温の低下による涼味関連
一般食品	値上がり前の駆け込み需要	単価の下落、競合 (他店の特売)
非食品		ドラッグストアとの競合

() は少数コメント